

共用品推進機構だより 2016年10月28日(29)

## 目次

### (134) 共用品推進機構関連記事

- ▽「医療機関における良かったこと調査／星川安之」
- ▽「共用品の話 4 片手で使えるモノ／星川安之」
- ▽「ブログを更新しました！」

### (135) 各種催しとお知らせ

- ▽「『サイトワールド2016』開催のお知らせ」
- ▽「『男性の家族介護応援セミナー』開催のお知らせ」

### (136) サービス関連記事

- ▽「スマホの通話文字に変換／NTT ドコモ」

### (137) その他、各種関連記事

- ▽「梱包資材開封簡単に／ファミリーマート、アサヒビール、ビッグ・エー」

### (138) 新刊紹介

- ▽『よくわかる！自閉症スペクトラムのための環境づくり  
事例から学ぶ「構造化」ガイドブック』
- ▽『自閉症スペクトラムの子どもと「通じる関係」をつくる関わり方  
言葉に頼らないコミュニケーション力を育てる』
- ▽『視覚障害教育に携わる方のために 5 訂版』
- ▽『発達障害の子どもの心がわかる本 赤ちゃん～学童期』
- ▽『発達障害の子の子育て相談 3 学校と家庭で育てる生活スキル』
- ▽『発達障害の子の子育て相談 5 性と生の支援』
- ▽『就活・就労のための手話でわかるビジネスマナー  
聴覚障害者と聴者のコミュニケーション』
- ▽『自閉症のぼくが「ありがとう」を言えるまで』

---

#### (134) 共用品推進機構関連記事

##### ▼「医療機関における良かったこと調査／星川安之」

共用品推進機構では2015年、医療機関並びに当事者団体等と共に「医療機関に関する良かったこと調査」を実施し、報告書としてこの5月にホームページに公開しました。

自由回答は大きく「外来」と「入院」の2つに分け、「人的対応」と「設備」、つまり「ソフト」と「ハード」に分けて聞き、まとめています。

日本では、本年4月に障害者差別解消法が施行されました。法律の意図するところは、障害当事者のニーズを把握し合理的配慮を行うことを公的機関には規定として、民間機関には推奨事項として定めています。ニーズは障害によっても、また個人によっても、個人のその日の体調によっても異なることもあります。

マニュアルに書いてある主だったニーズに加え、今回紹介した「良かったこと調査」の生の声をお読みいただき、それぞれの機関でそれぞれ合理的配慮を行う際の参考にしていただけたら幸いです。

医療機関に関する良かったこと調査報告書ーホームページアドレス

[http://www.kyoyohin.org/ja/research/report\\_goodthings.php](http://www.kyoyohin.org/ja/research/report_goodthings.php)

(福祉介護テクノプラス 2016年7月号より抜粋)

##### ▼「共用品の話 4 片手で使えるモノ／星川安之」

毎年秋に行われる国際福祉機器展は今年で43回となる展示会。障害のある人、高齢者に使いやすい製品を展示し多くの来場者を迎えています。会場内には、主催者である一般財団法人保健福祉広報協会が、時に応じたメッセージを商品展示と共に伝えるコーナーをいくつか設けています。

平成21年から「高齢者に優しいモノ展」と題したコーナーを設けました。いざ開場になると、このコーナーにはさっぱり人がきてくれない状態でした。

2年目は広報に力をいれるも、同じ結果となりました。何が原因かと考えていた時、片手が不自由なパーキンソン病の方から「片手で装着できるかっこいいネクタイがないかなあ？」と言われたのをヒントに、3年目のタイト

ルを「片手で使えるモノ展」としたところ、閑散としていたコーナーがまるで嘘のように、ひっきりなしの人という状態でした。

普段両手で使っている「歯みがき」、「洋服のボタンかけ」など、展示されているモノは全て「片手で使えるモノ」。けれど、「高齢者に優しいモノ展」でも並べていたモノが多くあったのです。

大きく変えたのはタイトルです。「高齢者の多くは、自分を高齢者とは思っていない、そのため関係ないコーナーと行って行かない」ことを、「片手で使えるモノ展」をやって身をもって教わりました。

(文藝家協会ニュース 10月号より抜粋)

▼「ブログを更新しました！」

・第43回国際福祉機器展 H.C.R2016「マイサイズ！あなたに合わせたモノ展」  
共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

-----  
(135) 各種催しとお知らせ

▼『「サイトワールド2016」開催のお知らせ』

サイトワールドは、最先端の技術・機器、日常用品、および、ユニバーサルデザイン（UD）製品等の展示会、講演会、学会発表、フォーラム、体験会等が催される、世界でも例を見ない視覚障害者のための総合イベントです。

日時：2016年11月1日（火）～3日（木）

午前10時～午後5時（最終日は、午後4時まで）

会場：すみだ産業会館 サンライズホール

（JR・地下鉄半蔵門線 錦糸町駅前 丸井錦糸町店 8・9階）

東京都墨田区江東橋 3-9-10

墨田区丸井共同開発ビル

入場料：無料

主催：社会福祉法人日本盲人福祉委員会内 サイトワールド実行委員会

問い合わせ

サイトワールド実行委員会

事務局 2016年2月より事務局が変更となりました。

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-29-7 スカイパレス 401

株式会社ラビット内

TEL : 03-5292-5644

メールフォーム : <http://www.sight-world.com/inquiry/index.html>

▼ 『男性の家族介護応援セミナー』開催のお知らせ

～いま、お困りの方へ！これからのことをお考えの方へ！～

聞きたくても誰にも聞けない・・・排泄のお話

日時：2016年11月11日（金）13:30～15:30

講師：松本紀子さん（介護サポート情報館たんぽけっと館長）

内容：排泄ケア用品について

○見て・触れて・感じる・・・排泄ケア用品の紹介

（メーカー各社試供品）

○利用される方に合った排泄ケア用品の選び方・使い方

パッド・リハビリパンツ・テープ式オムツ・その他

○排泄ケア用品の交換実技

場所：ソレイユさがみセミナールーム2

（JR・京王橋本駅北口徒歩1分イオン橋本店6F）

対象：家族を介護している男性および将来の家族の介護に備える男性

（女性も参加可）

定員：30名（申し込み順）

参加費：無料

保育：2歳以上から未就学児まで（要予約・無料）

主催：相模原市立男女共同参画推進センター（ソレイユさがみ）

（指定管理者特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら）

申込み・問合せ先

ソレイユさがみ（相模原市立男女共同参画推進センター）

シティ・プラザはしもと内

TEL : 042-775-1775

FAX : 042-775-1776

-----

## (136) サービス関連記事

### ▼「スマホの通話文字に変換／NTT ドコモ」

NTT ドコモは、耳が聞こえにくい人が電話相手と通話しやすくなるスマートフォン（スマホ）向けの試行サービスを発表した。相手の話した内容をリアルタイムに日本語の文字に変換してスマホの画面に表示する。声が聞こえにくくても相手の話した内容を理解しやすい。

クレジットカードを紛失したときや電気や水道のトラブル時などには電話をかける必要があるが、耳の聞こえにくい人は相手の話した内容を聞き取れずに困ることがあるという。新サービスを使うと知り合いに代理で電話をしてもらったりオペレーターに仲介してもらったりする必要がなくなる。試行を通じて音声認識技術の精度などを確かめ、2017年度以降の商用化をめざす。  
(日経MJ 10月24日7面より抜粋)

---

## (137) その他、各種関連記事

### ▼「梱包資材開封簡単に／ファミリーマート、アサヒビール、ビッグ・エー」

小売りの現場で女性や高齢の従業員が働きやすいように商品の梱包資材を見直す動きが広がっている。ファミリーマートは10月下旬、ミネラルウォーターの段ボールをレンゴーと共同開発したものに切り替える。ミシン目などが入り少ない力で開封できるのが特長だ。細かい作業の負担軽減はコスト削減にもつながることから今後も導入が増えそうだ。

アサヒビールも缶ビール用の新しい段ボール箱「らく陳カートン」をレンゴーと共同開発した。側面のミシン目から外すと上蓋だけを開封でき、陳列時に箱の中から商品を引っ張り出す手間を省ける。

ビッグ・エーもコスト削減の一環で商品を梱包する段ボールで、開封や陳列の手間を従来の3分の1程度に省ける「シェルフレディパッケージ (SRP)」の採用を広げている。段ボールにミシン目が入っており従業員が簡単に手で開けられる。

(日経MJ 10月24日5面より抜粋)

---

(138) 新刊紹介

▼『よくわかる！自閉症スペクトラムのための環境づくり  
事例から学ぶ「構造化」ガイドブック』

自閉症スペクトラムや知的障害のある子ども・大人がひとりでも安心して活動できる環境づくり「構造化」を基礎から解説。特別支援学校・通常の学校・福祉事業所・企業での事例も写真とともに紹介する。

監修・著：梅永雄二（うめなが・ゆうじ）

発行：学研プラス

本体価格：1900 円（税別）

ISBN：978-4-05-406480-5

▼『自閉症スペクトラムの子どもと「通じる関係」をつくる関わり方  
言葉に頼らないコミュニケーションカを育てる』

自閉症スペクトラムの子どもと「通じる関係」をつくるには。発達の遅れについて紹介すると共に、自閉症スペクトラムを「コミュニケーションの発達遅れ」と考え、一対一の関係での育ちや集団の場で起きる発達について解説する。

著：牧真吉（まき・しんきち）

発行：明石書店

本体価格：1800 円（税別）

ISBN：978-4-7503-4394-5

▼『視覚障害教育に携わる方のために 5 訂版』

視覚障害教育にはじめて関わりを持つ先生や、視覚に障害のある子供を持つ保護者のための手引き書。視覚障害教育を中心に、その周辺の諸問題も加味し、広く浅くわかりやすく記述する。障害児を取り巻く環境の変化に対応。

編著：香川邦生（かがわ・くにお）

共同執筆：猪平眞理（いのひら・まり）

発行：慶慮義塾大学出版会

本体価格：3000 円（税別）

ISBN：978-4-7664-2367-9

▼『発達障害の子どもの心がわかる本 赤ちゃん～学童期』

話しかけても目が合わない、言葉をあまり発しない、友だちトラブルが絶えない…。発達障害の基本的な知識に加え、自閉スペクトラム症、ADHD の子ども親ができること・心がけたいことを具体的に解説する。

監修：笠原麻里（かさらはら・まり）

編：主婦の友社

発行：主婦の友社

本体価格：1600 円（税別）

ISBN：978-4-07-416491-2

▼『発達障害の子の子育て相談 3 学校と家庭で育てる生活スキル』

自閉症スペクトラム、ADHD、LD などの子どもの保護者・支援者・教師に向けて、学校の指導方針と協働できる、将来の自立に向けた生活スキルの育て方を伝授する。

著：伊藤久美（いとう・くみ）

発行：本の種出版

本体価格：1500 円（税別）

ISBN：978-4-907582-08-1

▼『発達障害の子の子育て相談 5 性と生の支援』

自閉症スペクトラム、ADHD、LD などの子どもの保護者・支援者・教師に向けて、子どものいのちの尊厳を守り、健やかにセクシュアリティを育む方法を伝える。

編：伊藤修毅（いとう・なおき）

著：“人間と性”教育研究協議会障害児・者サークル

発行：本の種出版

本体価格：1500 円（税別）

ISBN：978-4-907582-10-4

▼『就活・就労のための手話でわかるビジネスマナー  
聴覚障害者と聴者のコミュニケーション』

聴覚障害者が会社で働くときに必要なビジネスマナーと、聴覚障害者と一緒に働く人に必要な配慮について、手話を学びながら理解できるようにまとめる。指文字表、数詞表なども収録。

著：竹村茂（たけむら・しげる）

絵：たかねきやら

発行：ジアース教育新社

本体価格：2000 円（税別）

ISBN：978-4-86371-380-2

▼『自閉症のぼくが「ありがとう」を言えるまで』

こだわり行動、パニック、運動障害、共感覚、学校生活…。会話のできない重度自閉症の15歳の少年が、みずからの症状を解説しながら、心の成長、そして大人たちへのメッセージを文字盤でつづった手記。

著：イド・ケダー

訳：入江真佐子（いりえ・まさこ）

発行：飛鳥新社

本体価格：1389 円（税別）

ISBN：978-4-86410-485-2

---

（編集後記）

9月30日から10月2日までドイツのフランクフルトで開催されたIEC（国際電気標準会議）のSyC（システムズコミッティ）AAL（Active Assisted Living：自立生活支援サービス）委員会の会議に参加しました。この委員会はPT（専門用語プロジェクトチーム）、WG1（利用者中心—ユースケース）、WG2（構造と相互運用性）、WG3（品質と適合性評価）、WG4（規制関連業務）、CAG（戦略と協調）のグループに分かれており、それぞれ8月、9月にインターネットでの会議を何回か行ってから、この会議に臨みました。私はPT（専門用語プロジェクトチーム）が中心ですが、そこではCD投票で出たコメントへの対応が検討されました。この結果CDV（投票用委員会原案）投票の最終ドラフトを年内に完成させ、来年1月にメンバーに回覧することになりました。また次回の会議は2017年4月に中国、北京で開催されることが決定しました。（松岡光一）



共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>  
共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>